

## 補足情報

---

タッチパネル内蔵液晶ディスプレイ -17  
(VL-17CST2)

# 目次

はじめに	3
<b>1 本製品の特長</b>	5
使用方法	6
<b>2 各部の名称と機能</b>	8
<b>3 ドライバーのインストール</b>	11
初めて電源を入れるとき	11
最新のドライバーをダウンロードしてインストールする	11
<b>4 液晶ディスプレイのセットアップ</b>	12
AUTO セットアップアクション機能	12
エコ機能	12
画質を選ぶ	14
細かい設定を行う	15
<b>5 省電力機能</b>	19
<b>6 PC- ディスプレイ電源連動機能</b>	20
<b>7 トラブルシューティング</b>	21
画面がおかしい	21
画面が調整できない	24
音が聞こえない／変な音が聞こえる	25
タッチパネルが正常に動作しない	26
<b>8 日常のお手入れ</b>	27
清掃する	27
<b>9 リサイクル</b>	28
<b>10 付録</b>	29
アームまたは壁掛けキットの取り付け方法	29
<b>11 仕様</b>	32
本体仕様	32
標準表示仕様	33
コネクタ仕様	34
外形図	35

# はじめに



このたびは、弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。  
このマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

## ■ マニュアルについて




- ディスプレイの設置、接続までは『取扱説明書』をご覧ください。  
『取扱説明書』の「使用上のご注意」も必ずお読みください。
- 画質の設定などの技術情報は、このマニュアルをご覧ください。
- タッチパネルドライバーのインストール、タッチパネルの設定については「VL-17 シリーズタッチパネルドライバー」の「Readme\_j.pdf」をご覧ください。

## ■ 警告表示について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。



	△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

## ■ 画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

## ■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 <b>重要</b>	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 <b>POINT</b>	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

## ■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記
VL-17CST2	本製品

## ■ 商標および著作権について

VESA、DDC は、Video Electronics Standards Association の登録商標です。  
その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。  
その他の各製品は、各社の著作物です。  
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright Fujitsu Limited 2024

# 1 本製品の特長

## 1 タッチパネル搭載

従来マウスで行っていた操作を、画面に触れるだけの簡単操作にすることができます。

## 2 PC- ディスプレイ電源連動機能

- ・添付の PS/2 ケーブルを接続することにより、ディスプレイの電源ボタンを押すことで、コンピュータの電源をオン、オフすることができます。
- ・コンピュータを床上など離れた場所に置いていても、机上のディスプレイの電源ボタンを押すだけでコンピュータの電源がオン、オフするので、楽な体勢で電源を入れることができます。机上をより広く使え、快適なオフィスワークを実現できます。

## 3 DDC/CI 対応

本製品は、VESA の DDC/CI (Display Data Channel Command Interface) 規格に対応しています。コンピュータが DDC/CI 規格に対応している場合は、DDC/CI 機能を使って画面を設定できます。

## 4 sRGB 対応

ディスプレイとプリンター、スキャナー、デジタルカメラなどの機器との色再現性を合わせる国際規格である、sRGB での表示が可能です。

### POINT

- ▶ sRGB とは、ディスプレイ、スキャナー、デジタルカメラなど周辺機器どうしの色再現性や、プリンターで出力するときの色を合わせることを目的にした、色の表現範囲を規定するための国際規格です。  
sRGB の設定については、「画質を選ぶ」(→ P.14) をご覧ください。

## 5 グリーン製品

省エネルギー、リサイクルしやすい材料の採用など、環境にやさしい設計です。

このマークは富士通株式会社のグリーン製品の評価基準に適合した製品に表示しています。



## 6 多彩な設置方法

本製品は VESA の FDMI 規格に対応しています。FDMI 規格に準拠したアームや壁掛けキットに取り付けることができます。

### POINT

- ▶ 「VESA FDMI」とは「VESA Flat Display Mounting Interface」の略で、液晶ディスプレイとアーム、または壁掛けキットを取り付けるインターフェースです。  
インターフェースとしては 75mm×75mm と 100mm×100mm の 2 種類あります。本製品は、75mm×75mm に対応しています。

## 7 LED エコモード

表示する画像に応じて自動的に画面の明るさを調整する機能、およびワンタッチで明るさを最小にする機能の2モードを搭載しています。

本機能を使用すると、最大約41%の消費電力を削減できます。

それぞれの機能の省電力効果は「★」の数で表現し、使いやすくなっています。

## 8 スピーカー内蔵

ステレオスピーカーを内蔵し、立体感のあるサウンドでマルチメディア環境を実現します。

# 使用方法

ディスプレイを長時間使い続けていると、目が疲れ、首や肩や腰が痛くなることがあります。その主な原因は、長い時間同じ姿勢でいることや、近い距離で画面やキーボードを見続けることです。ディスプレイをお使いになるときは疲労に注意し、適切な環境で作業してください。



## ■ ディスプレイ

- ・ 外光が直接目に入ったり画面に映り込んだりしないように、窓にブラインドやカーテンの取り付けや、画面の向きや角度の調整をしましょう。
- ・ 画面の輝度や文字の大きさなども見やすく調整しましょう。
- ・ ディスプレイの上端が目と同じかやや低くなるようにしましょう。
- ・ ディスプレイの画面は、顔の正面にくるように調整しましょう。
- ・ 目と画面の距離は、50cm 以上離すようにしましょう。

## ■ 使用時間

1時間以上続けて作業しないようにしましょう。続けて作業をする場合には、1時間に10～15分程度の休憩時間を取りましょう。そのとき、目の体操やできるだけ遠くを見るようにし、目の疲れやドライアイを予防しましょう。また、休憩時間までの間に1～2分程度の小休止を1～2回とり入れましょう。

## ■ 入力機器

キーボードやマウスは、ひじの角度が90度以上になるようにして使い、手首やひじは机、椅子のひじかけなどで支えるようにしましょう。

## ■机と椅子

高さが調節できる机や椅子を使いましょう。調節できない場合は、次のように工夫しましょう。

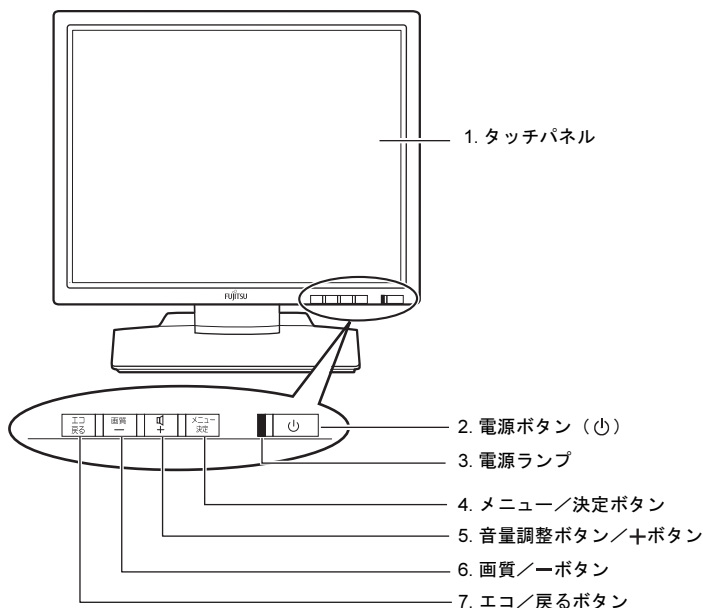
- ・机が高すぎる場合は、椅子を高く調節しましょう。
- ・椅子が高すぎる場合は、足置き台を使用し、低すぎる場合は、座面にクッションを敷きましょう。
- ・椅子は、背もたれ、ひじかけ付きを使用しましょう。

## ■作業スペース

机上のディスプレイの配置スペースと作業領域は、充分確保しましょう。スペースが狭く、腕の置き場がない場合は、椅子のひじかけなどを利用して腕を支えましょう。

## 2 各部の名称と機能

### ■ 前面



#### 1 タッチパネル

液晶ディスプレイを直接タッチして操作することができます。

#### 2 電源ボタン (⏻)

電源を入れたり、切ったりするときに押します。

#### 3 電源ランプ

電源が入ると緑色に点灯、省電力時はオレンジ色に点灯します。

PC-ディスプレイ電源連動機能を使用している場合の動作は「PC-ディスプレイ電源連動機能」(→ P.20) をご覧ください。

#### 4 メニュー／決定ボタン

メニュー画面を表示、調整項目を決定、設定値を保存するときに押します。

#### 5 音量調整ボタン／＋ボタン

音量を調整するときに押します。メニュー画面が表示されているときは、各項目の選択や設定値の調整をします。

#### 6 画質／－ボタン

映像の内容に合わせた画質モードに選ぶときに押します。

メニュー画面が表示されているときは、各項目の選択や設定値の調整をします。

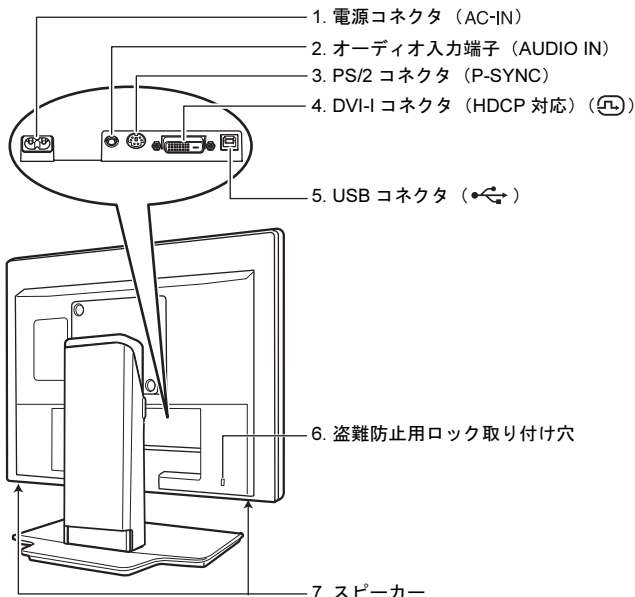


## 7 エコ/戻るボタン

「エコ機能」(→ P.12)の「オフ」「インテリジェントオート」「オン」を切り換えます。

また、メニュー画面で調整中の値を取り消したり、前のメニューに戻ったりするときに使用します。

## ■ 背面



### 1 電源コネクタ (AC-IN)

電源ケーブルを接続します。

### 2 オーディオ入力端子 (AUDIO IN)

コンピューターとオーディオケーブルで接続します。

### 3 PS/2 コネクタ (P-SYNC)

PC-ディスプレイ電源連動機能を利用するときに使用します。

コンピューターおよびキーボードを添付の PS/2 ケーブルで接続します。

### 4 DVI-I コネクタ (HDCP 対応) (DVI-I)

コンピューターと DVI 信号ケーブルまたは DVI-VGA 変換ケーブルで接続します。コアの付いていない側のケーブル端を本製品に接続します。

## POINT

- ▶ コンピューターと DVI 信号ケーブルで接続した場合、HDCP に対応します。
- ▶ HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、DVI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。本製品は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを表示することができます。

## 5 USB コネクタ (●⇄)

コンピューターと USB ケーブルで接続します。

## 6 盗難防止用ロック取り付け穴

市販の盗難防止用ケーブルを接続します。

## 7 スピーカー

音声を出力します。

## 注意

- ・ 本製品をご使用中は、不用意に背面ケーブル接続箇所に触れたり、ケーブルの抜き差しを行ったりしないでください。必ず本製品の電源をオフにしてから行ってください。

## 3 ドライバーのインストール

---

### 初めて電源を入れるとき

---

コンピューターに接続後、初めて電源を入れたときに、本製品のドライバー（INF ファイル）のインストールを要求されることがあります。この場合、画面の指示に従って一度「プラグアンドプレイモニター」として設定を完了させ、その後ドライバーのダウンロード、インストールを行ってください。

また、タッチパネル機能を使用するには、コンピューターにタッチパネルドライバーをダウンロード、インストールする必要があります。

#### POINT

- ▶ お使いの OS の INF ファイルがない場合は、そのまま「プラグアンドプレイモニター」としてご使用ください。

### 最新のドライバーをダウンロードしてインストールする

---

最新のドライバーは、「ドライバダウンロード」のページ ([https://www.fmworld.net/biz/fmv/index\\_down.html](https://www.fmworld.net/biz/fmv/index_down.html)) よりダウンロードできます。

「ディスプレイ INF ファイル／その他のドライバ」から型名（VL-17CST2）を検索してダウンロードし、インストールしてください。

タッチパネルドライバーのインストール、タッチパネルの設定については「VL-17 シリーズタッチパネルドライバ」の「Readme\_j.pdf」をご覧ください。

# 4 液晶ディスプレイのセットアップ

## AUTO セットアップアクション機能

本製品は、次のとき、最適な表示を得られるように画面位置、水平サイズなどを自動調整します。

- ・初めてディスプレイをコンピューターに接続したとき
- ・今までに入力されたことのない解像度（モード）が設定されたとき

### 重要

- ▶AUTO セットアップアクションは、本製品の対応する解像度（モード）でのみ動作します（→ P.33）。
- ▶一度調整された解像度（モード）は、設定値が本製品に記憶されるので、記憶後はAUTO セットアップアクションは動作しません。
- ▶AUTO セットアップアクションは、画面全体が暗い色に設定されている場合、動作しないことがあります。その場合は、コンピューターで画面の背景を白色にしてから、メニュー画面で「自動調整」（→ P.17）を行ってください。

## エコ機能

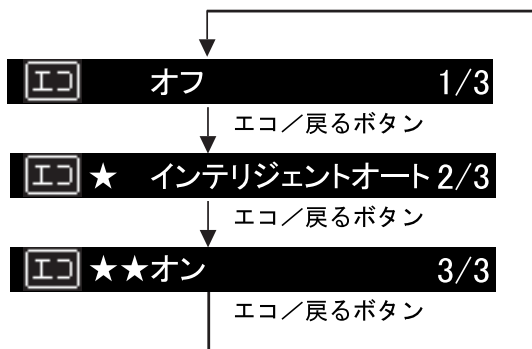
本製品には、画面の明るさを抑え消費電力を低減する「LED エコモード」機能が搭載されています。

### LED エコモード

LED エコモードとは、画面の明るさを抑え、消費電力を削減する機能です。

LED エコモードには「オフ」「インテリジェントオート」「オン」の3種類があり、通常時の消費電力を最大で約41%削減することができます。使用環境に応じてモードを選択することで、最適な省電力効果が得られます。

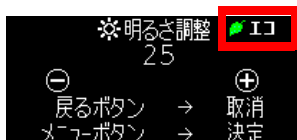
エコ／戻るボタンを1回押すと、現在のLEDエコモードの状態が表示されます。続けて押すと、次のようにモードが切り換わります。



モード名	機能	省電力効果
オフ	メニュー画面の「明るさ」で調整した明るさそのまま画面を表示します。	—
インテリジェント オート	画面内で白く表示されている面積に応じて画面の明るさを下げ、消費電力を低減します。	★（低）
オン	画面の明るさを、事前に暗めに設定した明るさに下げます。消費電力が最も小さくなります。	★★（高）

## 重要

- ▶ ご購入時は、LED エコモードが「オフ」に設定されています。
- ▶ 明るさ調整とLED エコモードの関係は次のようになります。  
明るさ調整値が25を超えると、LED エコモードは「オフ」に設定されます。  
明るさ調整値が25以下になると、LED エコモードは「オン」に設定され、エコアイコンが表示されます。



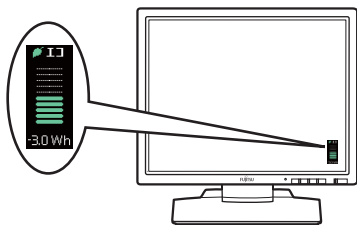
LED エコモードが「オン」の範囲内で明るさを調整した場合、調整した値は記憶され、次回からのLED エコモードの「オン」の設定になります。

## エコゲージ

現在の電力削減量をリアルタイムに数字とバーで表示します。

電源投入時や節電状態からの復帰時、入力信号および電力削減量に変化したときに一定時間表示され、自動的に消えます。

エコゲージは、メニュー／決定ボタン（→ P.8）でメニューを表示し、「エコ設定」－「エコゲージ表示」（→ P.17）で表示、非表示を切り換えることができます。



## POINT

- ▶ エコゲージで表示している数値およびバーは、LED エコモードやエコブートを使わずに明るさを最大にして使用している状態と比較した場合の値であり、電力削減量の目安を示すものです。

## エコブート

エコブートとは、OS の起動時など、入力信号が本製品の推奨解像度より小さい解像度（1024×768 など）の場合に、輝度を落として電力を削減する機能です。

エコブートは、メニュー／決定ボタン（→ P.8）でメニューを表示し、「エコ設定」－「エコブート」（→ P.17）でオン、オフを切り換えることができます。

## 重要

▶ 解像度が 1280×1024 の場合、エコブートは動作しません。

## ■ 累積電力削減量表示

ご使用開始からの電力削減量を表示することができます。

累積電力削減量 (kWh) とその累積電力削減量を CO<sub>2</sub> 換算した値 (kg) の 2 種類を表示します。累積電力削減量とは LED エコモードやエコブートを使わずに、明るさを最大にして使用している状態と比較した場合の値であり、電力削減量の目安を示すものです。

メニュー／決定ボタン (→ P.8) でメニューを表示し、「エコ設定」－「累積電力削減量表示」(→ P.17) で表示できます。

「累積電力削減量表示」で表示している累積電力削減量と累積 CO<sub>2</sub> 削減量は、「エコ設定」－「累積電力削減量表示リセット」(→ P.17) でリセットできます。

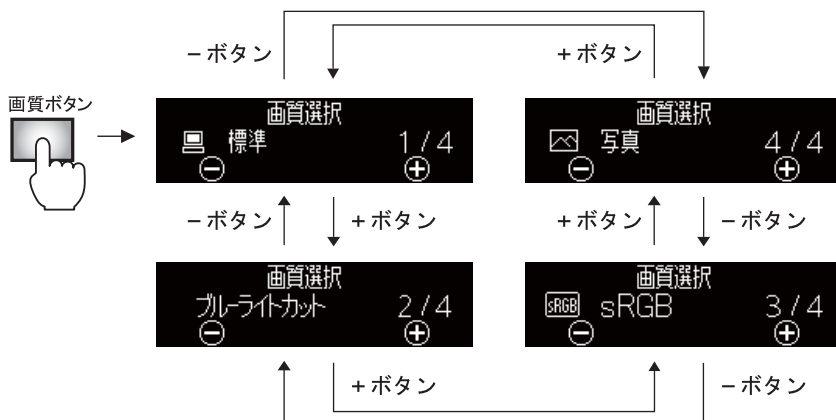
## POINT

▶ 「累積電力削減量」には、本製品が省電力状態に入っている間 (→ P.19) に削減された電力量は含まれておりません。

## 画質を選ぶ

画質／－ボタン (→ P.8) を使って、サブメニューから映像の内容に合わせた画質モードを選ぶことができます。

画質／－ボタンを押すと「画質選択」画面が表示されます。続けて－／＋ボタンを押すと、画質を選択することができます。



ボタン操作を行わなかった場合、設定は保存され、表示は自動的に消えます。次に電源を入れたときにも、保存された内容で画面が表示されます。

モード名称	モードの用途など
標準	標準的な設定のモードです。このモードのみコントラスト、カラー、黒レベルの調整が可能です。
ブルーライトカット	エネルギーが高い青色光を最大約 60%低減するモードです。同時にメールや文書の作成などのときには、紙の書類とほぼ同じように見え、見やすくなります。
sRGB	コンピュータの機種など機器の違いによらず、意図したとおりの色を再現するための国際規格「sRGB」に設定します。
写真	デジタルカメラの画像や Web 閲覧などのグラフィック表示を鮮やかに見せるモードです。鮮明に色を表現します。

## POINT

- ▶ メニュー画面などが表示されている場合、設定選択画面は表示できません。メニュー画面などの表示が消えた後に、画質／ボタンを押してください。  
メニュー画面については、「細かい設定を行う」(→ P.15) をご覧ください。
- ▶ 細かい画質の調整は、画質選択で「標準」を選択後、メニュー／決定ボタン (→ P.8) でメニューを表示させて行ってください。  
画質の調整項目については、「調整項目の内容」(→ P.17) をご覧ください。

## 細かい設定を行う

画面下部にあるメニュー／決定ボタン (→ P.8) を押して表示されるメニュー画面の中から、個別に選択して調整することができます。

## ■ メニュー画面の基本的な操作

### □ ボタンの基本機能

#### メニュー／決定ボタン

- ・ メニュー画面の表示
- ・ 調整項目の決定
- ・ 設定値の保存
- ・ ボタンロックの解除

#### 画質／ボタン

- ・ 調整項目の選択 (メニュー画面の表示時)
- ・ 設定値の調整 (メニュー画面の表示時)
- ・ 画質モード選択メニューの表示

#### エコ／戻るボタン

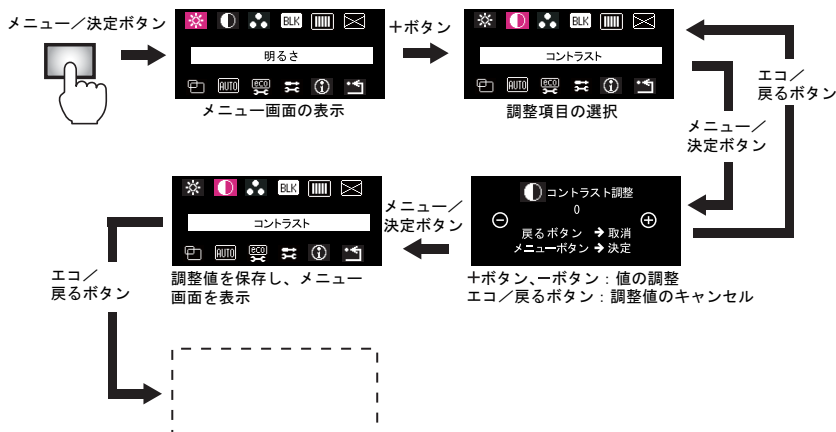
- ・ メニュー画面の消去
- ・ 調整項目の取り消し
- ・ 設定値の取り消し
- ・ LED エコモードの切り換え

#### 音量調整ボタン／十ボタン

- ・ 調整項目の選択 (メニュー画面の表示時)
- ・ 設定値の設定 (メニュー画面の表示時)
- ・ 音量調整メニューの表示

## □ 操作手順

例) コントラストを調整する場合



メニュー画面が表示されている状態でボタン操作を行わなかった場合、設定は保存され、表示は自動的に消えます。次に電源を入れたときにも、保存された設定内容で画面が表示されます。




## 📌 重要

- ▶ 解像度を変更しても、保存された設定内容で画面が表示されます。
- ▶ 水平サイズ、フォーカスおよび画面位置の調整項目は、解像度ごとに設定値を保存します。



## ■ 調整項目の内容

アイコン	名 称	機 能	アナログ	デジタル
	明るさ	画面全体の明るさを調整します。	○	○
	コントラスト	画面全体の濃淡の強さ（コントラスト）を調整します（画質モード「標準」でのみ調整可能）。	○	○
	カラー	画面の表示色を調整します。固定値の設定や赤、緑、青の色合いを個別に設定できます（画質モード「標準」でのみ調整可能）。	○	○
	黒レベル	黒色のレベルを任意に設定できます（画質モード「標準」でのみ調整可能）。	○	○
	水平サイズ	帯状（縦）のノイズが発生する場合に調整します。	○	×
	フォーカス	文字のにじみや画面の水平方向のノイズが発生する場合に調整します。	○	×
	画面位置	表示位置を上下左右に調整します。	○	×
	自動調整	画面位置、水平サイズ、フォーカスを自動で調整します。自動調整する場合は、画面の背景を白色にすることをお勧めします。 「AUTO セットアップアクション機能」（→ P.12）	○	×
	エコ設定	消費電力の削減に関連した機能の設定をします。	○	○
	エコゲージ表示	「エコゲージ」（→ P.13）の表示、非表示を切り換えます。	○	○
	エコポート	「エコポート」（→ P.13）のオン、オフを切り換えます。	○	○
	累積電力削減量表示	累積の電力削減量 (kWh) と累積の電力削減量を CO <sub>2</sub> 換算した値 (kg) が表示されます。	○	○
	累積電力削減量表示リセット	累積電力削減量および累積 CO <sub>2</sub> 削減量の値をクリアし、ゼロにします。	○	○
	その他の設定	その他の設定をします。	○	○
	ミュート	オンにすると、本製品のスピーカー出力を停止します。 ミュートがオンのときに音量を調整すると、ミュートは解除されます。	○	○
	DDC/CI	VESA DDC/CI <sup>注1</sup> のオン、オフを切り換えます（画質モード「標準」「sRGB」でのみ設定可能。「ブルーライトカット」「写真」では DDC/CI 機能は動作しません）。	○	○
	ロゴ表示	起動時のロゴを表示するかしないかを設定します。	○	○


アイコン	名 称	機 能	アナログ	デジタル
	ボタンロック	メニュー／決定ボタン、音量調整ボタン／＋ボタン、画質／－ボタン、エコ／戻るボタン、電源ボタンを無効にすることができます。 ボタンロック中にこれらのボタンを押すと、画面に「ボタンがロックされています」と表示されます。 ロックを解除するには、メニュー／決定ボタンを 3 秒以上（メインメニューが表示されるまで）押し続けてください。	○	○
	情報表示	現在設定されている解像度と周波数が表示されます。またアイコンでミュート、DDC/CI、画質モード、HDCP、エコブート、エコゲージ表示、LED エコモード、ロゴ表示の状態を確認できます。	○	○
	リセット <sup>注2</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オール すべての項目をご購入時の設定に戻します。</li> <li>・カラー 色に関する設定のみを、ご購入時の設定に戻します。</li> </ul>	○	○

注 1：本製品は、VESA（Video Electronics Standards Association）の DDC/CI（Display Data Channel Command Interface）規格に対応しています。

注 2：リセット（オール、カラー）はどの画質モードで実行しても、すべての画質モードの設定値をご購入時の設定値に戻します。

## ■ 音量調整

スピーカーの音量は、メニュー画面を表示せずに、**＋**ボタンを押してから、**－／＋**ボタンで直接調整できます。

アイコン	名 称	機 能	アナログ	デジタル
	音量調整	本製品のスピーカーの音量を調整します。 <b>＋</b> ボタンを押すと音量が大きくなり、 <b>－</b> ボタンを押すと音量が小さくなります。 ミュートがオンのときに音量を調整すると、ミュートは解除され、スピーカーから音が出る状態になります。	○	○

## POINT

▶省電力の動作時、音声出力は止まります。

# 5 省電力機能

本製品はコンピューターの省電力機能に対応しています。この機能は、マウスおよびキーボードが一定時間操作されないと、画像の表示を中断し、電力の消費を抑えます。

省電力状態では、画面の表示が中断し、本製品の電源ランプはオレンジ色に点灯します。省電力状態から元の状態に戻すには、キーボードのいずれかのキーを押すかマウスを動かします。本製品は、コンピューターの制御に応じて、次の表に示すいずれかの状態に移行します。移行時には画面に「節電に入ります」というメッセージが表示されます。省電力機能については、コンピューターのマニュアルをご覧ください。

コンピューターの状態	本製品の動作					本製品の消費電力
	画面表示	本製品の電源供給元	電源ボタン	電源ランプ	LED エコモード	
通常状態	表示あり	コンセント、またはコンピューターの電源連動式サービスコンセント	オン	緑	オフ	最大時：18W / 34VA 出荷時 <sup>注1</sup> ：11W（出荷輝度設定時）
					オン	LED エコモードオン時：8W
映像出力オフ <sup>注2</sup>	表示なし	コンセント、またはコンピューターの電源連動式サービスコンセント	オン	オレンジ	オフ	省電力動作時：0.4W
スリープ状態、休止状態、またはシャットダウン	表示なし	コンセント	オン	オレンジ	オン／オフ	省電力動作時：0.4W
スリープ状態、休止状態、またはシャットダウン	表示なし	コンピューターの電源連動式サービスコンセント	オン	消灯	オン／オフ	0W
—	表示なし	コンセント	オフ	消灯	—	0.3W <sup>注3</sup>

注1：ご購入時の状態で、明るさを特に調整しない状態での消費電力です。

注2：次のように、コンピューターの電源がオンで画面表示を停止した状態です。

- ・電源設定にて、「ディスプレイの電源を切る」の設定時間を経過している
- ・リモートで省電力状態から復帰（レジューム）した状態になっている

注3：電源ボタン「オフ」時の電力消費は、電源ケーブルをコンセントまたはコンピューターの電源連動式サービスコンセントから抜くことで0にすることができます。

## ■ コンピューターの電源連動式サービスコンセントからの電力供給について

コンピューターでスリープまたは休止状態が設定されている場合、省電力動作時には、電源連動式サービスコンセントから電力が供給されなくなります。

ただし、タッチパネルの電源は、USB ケーブルを通してコンピューターから供給されるため、コンピューターがスリープ時でも、タッチパネルの操作でコンピューターを起動できます。

### POINT

▶ お使いのコンピューターによっては、タッチパネルの操作でコンピューターを起動できないこともありますので、ご注意ください。

## 6 PC- ディスプレイ電源連動機能

本製品は添付の PS/2 ケーブルでコンピューターと接続することにより、PC- ディスプレイ電源連動機能を使用することができます。

PC- ディスプレイ電源連動機能とは、ディスプレイの電源ボタンを押すことで、コンピューターの電源をオン、オフすることができる機能です。コンピューターの電源ボタンの操作をディスプレイの電源ボタンで行うことができるため、コンピューターが離れた場所に設置されている場合などに便利です。

### 重要

▶ PC- ディスプレイ電源連動機能を使用するには、PS/2 コネクタがあるコンピューターが必要です。

PC- ディスプレイ電源連動機能の使用時、本製品の電源ランプは白色またはオレンジ色に点灯しします（PC- ディスプレイ電源連動機能の未使用時は緑色またはオレンジ色）。

コンピューターの電源ボタンを押したときの動作がシャットダウン<sup>注3</sup>の場合、ディスプレイの電源ボタンを押すと、次の表に示す状態に移行します。

なお、ケーブルの接続については『取扱説明書』をご覧ください。

コンピューターの状態	ディスプレイの状態		ディスプレイの電源ボタンを押した場合の動作
	画面表示	電源ランプ	
電源オン (通常状態) 注1	表示あり	白	シャットダウンに移行 <sup>注3</sup>
映像出力オフ <sup>注2</sup>	表示なし	オレンジ	電源オン（通常状態）に移行
スリープ状態、休止状態またはシャットダウン	表示なし	消灯	電源オン（通常状態）に移行

注1：コンピューターの電源がオンで、画面が表示されている状態です。画面が表示されない「模様なし」のスクリーンセーバー状態を含みます。

注2：次のように、コンピューターの電源がオンで画面表示を停止した状態です。

- ・電源設定にて、「ディスプレイの電源を切る」の設定時間を経過している
- ・リモートで省電力状態から復帰（レジューム）した状態になっている

注3：OSにより電源を切る方法は異なりますので、コンピューターのマニュアルもご覧ください。

また、電源ボタンを押したときの動作は、コンピューターの設定内容（電源オプション内の「電源ボタンを押したときの動作」）に依存します。

# 7 トラブルシューティング

本製品のご使用中に何か困ったことが起きた場合は、次の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。問題が解決できない場合は、ご購入元にご確認いただくか、『取扱説明書』のお問い合わせ先にご相談ください。

## 画面がおかしい

症 状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面が明るすぎる	明るさの設定値が大きすぎる。	明るさを調整してください。	「明るさ」(→ P.17)
画面が暗くなった	LED エコモードが「インテリジェントオート」または「オン」になっている。	エコ／戻るボタンを押して、LED エコモードを「オフ」に設定してください。	「エコ機能」(→ P.12)
	明るさの設定値が小さすぎる。	明るさを調整してください。	「明るさ」(→ P.17)
	表示解像度が本製品の推奨解像度(→ P.33)より小さい解像度(1024×768 など)で使用されており、エコブート機能が動作している。	エコブート機能をオフにしてください。	「エコブート」(→ P.13)
	液晶パネル内部の LED が、長期使用で暗くなっている。	有償にて交換させていただきます。詳しくは「故障・修理に関するお問い合わせ先」、または購入元にご連絡ください。	『取扱説明書』
BIOS画面が表示されない、または BIOS 画面の表示時間が短い	ロゴ表示がBIOS画面と重なっている。	ロゴ表示を「オフ」に設定してください。	「ロゴ表示」(→ P.17)
画面いっぱいに表示されない(アナログ信号入力時)	画面位置の調整が適切でない。	水平サイズの調整を行った後に画面位置の調整を行ってください。	「水平サイズ」(→ P.17)、 「画面位置」(→ P.17)
色の階調が強調され、グラデーションがなめらかに表示されない	画質モードが「写真」に設定されている。	画質モードの設定を別のモードに変更してご使用ください。	「画質を選ぶ」(→ P.14)

症 状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面の縦横比が崩れてしまう	コンピューターの設定が推奨解像度以外の解像度（モード）になっている。	コンピューターの設定を推奨解像度（モード）に設定してください。	「標準表示仕様」(→ P.33)、コンピューターのマニュアル
	コンピューターの設定が 720×400 の解像度（モード）になっている。	コンピューターの設定を 720×400 以外の解像度（モード）に変更してください。	コンピューターのマニュアル
格子状の模様が見えないことがある（アナログ信号入力時）	フォーカスが合っていない。	フォーカスを調整してください。	「フォーカス」(→ P.17)
帯状のしま模様（縦）が見えることがある（アナログ信号入力時）	水平サイズの調整が適切でない。	水平サイズの調整をしてからフォーカスの調整をしてください。	「水平サイズ」(→ P.17)、 「フォーカス」(→ P.17)
画面がはみ出る（アナログ信号入力時）	画面位置の調整が適切でない。	自動調整を実施してください。 それでもなお画面がはみ出る場合は、水平サイズの調整を行った後に画面位置の調整を行ってください。	「AUTOセットアップアクション機能」(→ P.12)、 「水平サイズ」(→ P.17)、 「画面位置」(→ P.17)
	標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	コンピューターの設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「標準表示仕様」(→ P.33)、コンピューターのマニュアル
次のメッセージが表示される「サポート外のモードです」	本製品に適切な信号が入力されていない。	コンピューターの設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「標準表示仕様」(→ P.33)、コンピューターのマニュアル
画面が消えることがある	電源ケーブルが奥まで確実に接続されていない。	電源ケーブルを奥まで確実に接続してください。	『取扱説明書』

症 状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
文字の太さが場所によって異なる	1280×1024 よりも低い解像度（モード）になっている。 デジタル処理で擬似的に拡大表示しているので文字の太さが異なる場合がある。	コンピュータの解像度を 1280×1024 に設定してください。	「標準表示仕様」（→ P.33）、 コンピュータのマニュアル
	フォーカス、水平サイズの調整が適切でない（アナログ信号入力時）。	水平サイズの調整をしてからフォーカスの調整をしてください。	「水平サイズ」（→ P.17）、 「フォーカス」（→ P.17)
電源を入れた直後やコンピュータの起動時または終了時に画面が点滅したり、乱れたりすることがある	コンピュータからの信号が連続的に切り換わるために起こる。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	—
点灯したままの点や黒い点が表示される	液晶パネルの特性で、故障ではありません。	見えにくい壁紙に設定することをお勧めします。	コンピュータのマニュアル
画面を切り換えても前の画像が薄く残っている	長時間同じ静止画像を表示すると、この現象が起こることがあります。液晶パネルの特性で、故障ではありません。	コンピュータの電源を切るか、変化する画像を表示していれば、画像は 1 日程度で自然に消えます。スクリーンセーバーを設定することをお勧めします。	—
表示画面にむらがある（もやもやしている）	タッチパネルの表面を強く押した。	本製品の電源を切り、その後電源を入れてください。	「各部の名称と機能」（→ P.8)
	タッチパネルの表面が汚れている。	タッチパネルの表面を清掃してください。	「日常のお手入れ」（→ P.27)
画面がちらつく	一部の階調、表示パターンによってちらつきが発生します。	画質モードを変更して、ちらつきの少ない画質モードを選択してください。	「画質を選ぶ」（→ P.14)
	LED エコモードが「インテリジェントオート」に設定されている。	LED エコモードを別のモードに変更してご使用ください。	「エコ機能」（→ P.12)
2 台以上のマルチディスプレイを表示したとき、画面の色調が若干異なって見える	装置の個体差によるもの。	画質モードを「sRGB」に設定、またはカラーを調整してください。	「画質を選ぶ」（→ P.14）、 「カラー」（→ P.17)

## 画面が調整できない

症 状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面上に「ボタンがロックされています」と表示される	ボタンロックが有効になっている。	メニュー／決定ボタンを 3 秒以上（メニュー画面が表示されるまで）押し続け、ボタンロックを解除してください。	「ボタンロック」（→ P.18）
メニュー画面の自動調整ができず、次のメッセージが表示される 「自動調整実行失敗しました マニュアルをご覧ください」	画面全体が極端に暗い色に設定された状態で自動調整が行われた。	画面の背景を白色にして、もう一度メニュー／決定ボタンを押して、自動調整を行ってください。	「AUTO セットアップアクション機能」（→ P.12）、 「ボタンの基本機能」（→ P.15）
メニュー／決定ボタンを押すと、メニュー画面が表示せず、次のメッセージが表示される 「サポート外のモードです。 H63.9kHz V60.1Hz」 注  注：数値は状況により異なります。	標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	コンピューターの設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「情報表示」（→ P.18）、「標準表示仕様」（→ P.33） および コンピューターのマニュアル



## 音が聞こえない／変な音が聞こえる

症 状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
スピーカーから音が聞こえない	本製品のミュートがオンになっている。	メニュー画面より、ミュートをオフにしてください。	「音量調整」(→P.18)
	コンピューターの音量の設定がミュートになっている。	通知領域の「音量」アイコンをクリックして音量つまみを表示し、ミュートの設定を解除してください。	コンピューターのマニュアル
	本製品のスピーカー音量またはコンピューターの音量設定が最小となっている。	本製品のメニュー画面が表示されていない状態で $\oplus$ ボタンを押してから、 $\ominus/\oplus$ ボタンで音量を調整してください。 または通知領域の「音量」アイコンをクリックして音量つまみを表示し、音量を調整してください。	「各部の名称と機能」(→P.8)、 コンピューターのマニュアル
	オーディオケーブルが正しく接続されていない。	オーディオケーブルが本製品とコンピューターの適切な場所に接続され、しっかりと奥まで差し込まれていることを確認してください。	『取扱説明書』
	本製品が省電力モードになっている。	省電力時には音声出力を止める仕様となっています。	「省電力機能」(→P.19)
スピーカーからブツブツという雑音が聞こえる	本製品の近くで携帯電話、トランシーバーなどの電波を発生する装置を使用している。	故障ではありません。携帯電話、トランシーバーを本製品から離してお使いになるか、使用をおやめください。	—
電源の投入時などに「ブチッ」とノイズ音がする	オーディオ回路の出力信号が不安定なため発生します。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	—

## タッチパネルが正常に動作しない

症 状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
タッチパネルが正常に動作しない	ドライバーのインストールが正常に行われていない。	ドライバーのインストール状態を確認し、再インストールを行ってください。	「VL-17シリーズタッチパネルドライバ」のソフトウェア説明書
	USB ケーブルが正しく接続されていない。または、奥まで確実に接続されていない。	USB ケーブルを正しく奥まで確実に接続してください。	『取扱説明書』
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 接続するビデオ出力ポート（デジタル、アナログ）を変更した。</li> <li>・ ディスプレイの表示方法（拡張、複製、メインディスプレイの選択、ディスプレイの配置）を変更した。</li> <li>・ 接続する USB ポートを変更した。</li> </ul>	「タッチパネル設定ツール」を起動し、「モニタ構成」を実行してください。	「VL-17シリーズタッチパネルドライバ」のソフトウェア説明書
	指先でタッチしたり、タッチする力が弱い。	画面を傷つけないタッチペンなどを使用し、確実にタッチしてください。	—
タッチパネルにタッチしたとき、マウスポインターが表示しない	タッチパネル操作が「マウスモード」になっていない。	「タッチパネル設定ツール」を起動し、「設定ファイル」で「Mouse.mfd」を選択してください。	「VL-17シリーズタッチパネルドライバ」のソフトウェア説明書
タッチした場所と違う所が反応する	キャリブレーションが正常に行われていない。	「タッチパネル設定ツール」を起動し、キャリブレーションを行ってください。	「VL-17シリーズタッチパネルドライバ」のソフトウェア説明書
キャリブレーションの実施後、赤色の十字マークと青色の十字マークがずれて表示される	赤色の十字マークは補正前の、青色の十字マークは補正後の位置を示しています。ずれて表示されていても問題ありません。	キャリブレーションの処理が完了していれば補正は正常に終了していますので、そのままお使いください。キャリブレーションの実施後も補正されていないと感じる場合は、再度キャリブレーションを実施してください。	「VL-17シリーズタッチパネルドライバ」のソフトウェア説明書

## 8 日常のお手入れ

### 清掃する

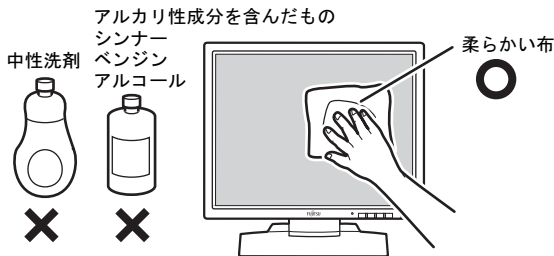
お手入れの前に本製品の電源を切り、本製品の各ケーブルをコンセントまたはコンピューターから抜いてください。

#### 重要

- ▶ 化学ぞうきんや市販クリーナーは、次の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷つける場合がありますので、使用しないでください。
  - ・アルカリ性成分を含んだもの
  - ・界面活性剤を含んだもの
  - ・アルコール成分を含んだもの
  - ・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
  - ・研磨材を含んだものなど
- ▶ 本製品を清掃するときには、傷が付くのを防ぐため次の点にご注意ください。
  - ・柔らかい布をご使用ください。
  - ・力を入れすぎないようにしてください。
- ▶ 清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

#### □ 画面（タッチパネル）

ガーゼなどの柔らかい布で拭いてください。



#### □ カバー

水または中性洗剤を含ませ、固く絞った布で拭いてください。中性洗剤を使用した場合は、水に浸して固く絞った布で、中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取るときには、本製品に水が入らないように充分注意してください。



## 9 リサイクル

---

### ■ 本製品の廃棄について

本製品の廃棄については、「ICT 製品の処分・リサイクル方法」のページ（<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/recycleinfo/>）をご覧ください。

## アームまたは壁掛けキットの取り付け方法

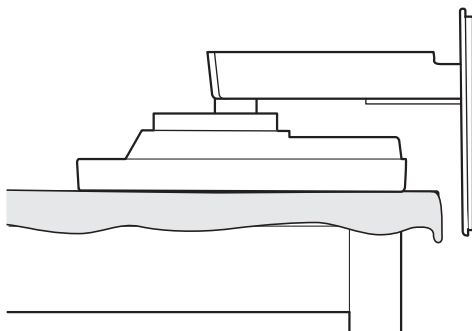
本製品はスタンドを取り外して、VESA FDMI 規格対応のアームまたは壁掛けキットを取り付けることができます。

ドライバーをご用意ください。

### 重要

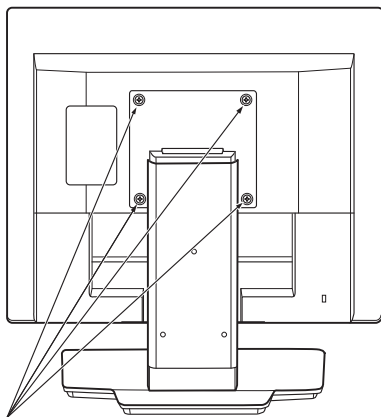
- ▶ 本製品に取り付けるアームまたは壁掛けキットは、VESA FDMI 規格に適合したものをお選びください。
- ▶ 本製品に取り付けられるアームまたは壁掛けキットは、次の条件を満たしている必要があります。
  - ・ 取り付け部分のネジ穴の間隔が 75mm×75mm である
  - ・ M4×10mm のネジで、取り付けができる
  - ・ 5kg の重さに耐えられる
- ▶ ネジは、VESA FDMI 規格対応のアームまたは壁掛けキットに添付されているもの（M4×10mm）を必ず使用してください。
- ▶ ネジは最後までしっかりと締めてください。取り付け方が不十分な場合、外れて落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- ▶ アームまたは壁掛けキットを取り付けおよび設置するときは、アームまたは壁掛けキットのマニュアルもご覧ください。

- 1 すでにケーブルを接続している場合は、いったんすべてのケーブルを取り外します。
- 2 カバーやタッチパネルに傷が付かないように、柔らかい布などを敷いた安定した場所に、タッチパネル面を下に向けて置きます。



### 3 スタンドのネジ（4ヶ所）を取り外します。

取り外したスタンドとネジは、スタンド使用時に必要ですので、大切に保管してください。



ドライバーでネジを外す（4ヶ所）

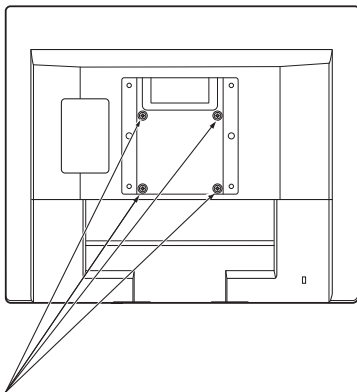
### 4 スタンドを取り外します。

#### ⚠ 注意

- ・ スタンドは必ず手で持って作業してください。スタンドの落下により、破損、けがのおそれがあります。

### 5 アタッチメント金具を取り外します。

ネジ（4ヶ所）を外した後、アタッチメント金具を取り外します。



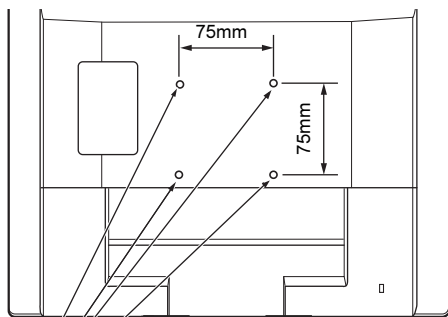
ドライバーでネジを外す（4ヶ所）

#### POINT

- ▶ 取り外したアタッチメント金具、ネジは、スタンドの使用時に必要ですので、大切に保管してください。

## 6 本製品をアームや壁掛けキットに取り付けます。

本製品のアーム、壁掛けキット固定用ネジ穴（4ヶ所）に、アームまたは壁掛けキットのネジ穴を合わせ、アームまたは壁掛けキットに添付されているネジ4本（M4×10mm）で取り付けてください。



アーム、壁掛けキット固定用ネジ穴

## 7 アームまたは壁掛けキットを設置した後、ケーブルを接続します。

接続については、『取扱説明書』をご覧ください。

### POINT

- ▶ アームまたは壁掛けキットを設置した後で、本製品背面のコネクタにケーブルを接続できない場合は、アームまたは壁掛けキットを設置する前にケーブルを接続してください。

### POINT

- ▶ アームまたは壁掛けキットを外してスタンドを使用する場合は、「アームまたは壁掛けキットの取り付け方法」（→ P.29）の逆の手順でスタンドを取り付けてください。

# 11 仕様

## 本体仕様

項目		仕様
入出力 I/F (コネクタ)	DVI-I コネクタ	映像信号 : デジタル (TMDS/HDCP) アナログ (セパレート同期信号対応) 0.7Vp-p (正極性)、75Ω インピーダンス
	オーディオ入力端子 (φ3.5 ステレオジャック)	音声信号 : アナログ 0.7Vrms、12.7KΩ インピーダンス
	USB コネクタ	タッチパネル制御用 I/F USB2.0 準拠 Type-B コネクタ
表示部	画面サイズ	17 型 (対角 43cm)
	表示寸法	337.9mm (H) × 270.3mm (V)
	液晶パネル	TFT カラー液晶
	解像度	1280×1024 ドット
	画素ピッチ	0.264mm×0.264mm
	表示色	1677 万色
	輝度	200cd/m <sup>2</sup>
	コントラスト比	1000:1
	応答速度	14ms
	視野角	上下 178°、左右 178°
	タッチパネル	検出方式 : 抵抗膜方式 硬度 : 2H、透過率 : 80%
機能	入力対応解像度	640×480、720×400、800×600、1024×768、1280×1024
	チルト	下 0 ～ 上 20°
	スリーベル	—
電源	入力	AC100V 50/60Hz (入力波形は正弦波のみサポート)
	最大消費電力	18W/34VA (オーディオ動作時)
	出荷時消費電力	11W (出荷輝度設定時)
	LED エコモード「オン」時消費電力	8W
	最小消費電力 (省電力動作時 <sup>注1</sup> )	0.4W
	電源ボタン「オフ」時 <sup>注2</sup>	0.3W
スピーカー	出力	1W×2 8Ω インピーダンス
	周波数特性	450Hz ～ 20kHz (0.5W 出力時)
寸法		380mm (W) × 215mm (D) × 378mm (H)
質量		約 4.9kg (本体)、約 3.1kg (表示部のみ)
使用条件	温度	5 ～ 35 °C
	湿度	10 ～ 90% (結露しないこと)



注 1 : コンピューターで設定した自動的にディスプレイの電源を切る時間が経過して、スピーカーを使用せず、明るさを特に調整しない状態での使用を想定しています。電源ランプがオレンジ色の状態です。

注 2 : 電源ボタン「オフ」時の電力消費は、電源ケーブルをコンセントまたはコンピューターの電源連動式サービスコンセントから抜くことで 0 にすることができます。

# 標準表示仕様

本製品には、ご購入時に下表の解像度（モード）の調整値が登録されています（走査方式がインターレースの信号は対応していません）。

◎：推奨解像度（モード）    ○：表示可能

No.	解像度 （モード）	水平周波数 （kHz）	垂直周波数 （Hz）	表示可能解像度（モード）	
				アナログ	デジタル
1	640×480	31.5kHz	60Hz	○	○
2	640×480	37.5kHz	75Hz	○	—
3	640×480	37.9kHz	72Hz	○	—
4	720×400	31.5kHz	70Hz	○	○
5	800×600	37.9kHz	60Hz	○	○
6	800×600	46.9kHz	75Hz	○	—
7	800×600	48.1kHz	72Hz	○	—
8	1024×768	48.4kHz	60Hz	○	○
9	1024×768	56.5kHz	70Hz	○	—
10	1024×768	60.0kHz	75Hz	○	—
11	1280×1024	64.0kHz	60Hz	◎	◎
12	1280×1024	80.0kHz	75Hz	○	—

## 重要

- ▶ アナログ接続の場合、接続するコンピューターの種類により、表示位置などが多少ずれることがあります。その場合は、メニュー画面より自動調整を行ってください。自動調整で調整しきれない場合は、メニュー画面の「画面位置」（→ P.17）、「水平サイズ」（→ P.17）または「フォーカス」（→ P.17）で調整してください。コンピューター側での微調整は行わないでください。
- ▶ 上表以外の解像度（モード）にコンピューターを設定すると、正常に表示されなくなる場合があります。
- ▶ 1280×1024 以外の解像度（モード）では、文字の輪郭がはっきり見えなかったり、細かなストライプの太さが揃わなかったり、縦横比が異なって画像などにゆがみが発生することがあります。これは、擬似的に拡大表示（全画面表示）しているためであり、故障ではありません。
- ▶ 上表の解像度（モード）であっても、スキャンコンバーターで表示された NTSC 信号については表示品位を保証するものではありません。

# コネクタ仕様

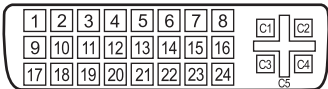
## ■ デジタル (DVI-I コネクタ)

端子配列表

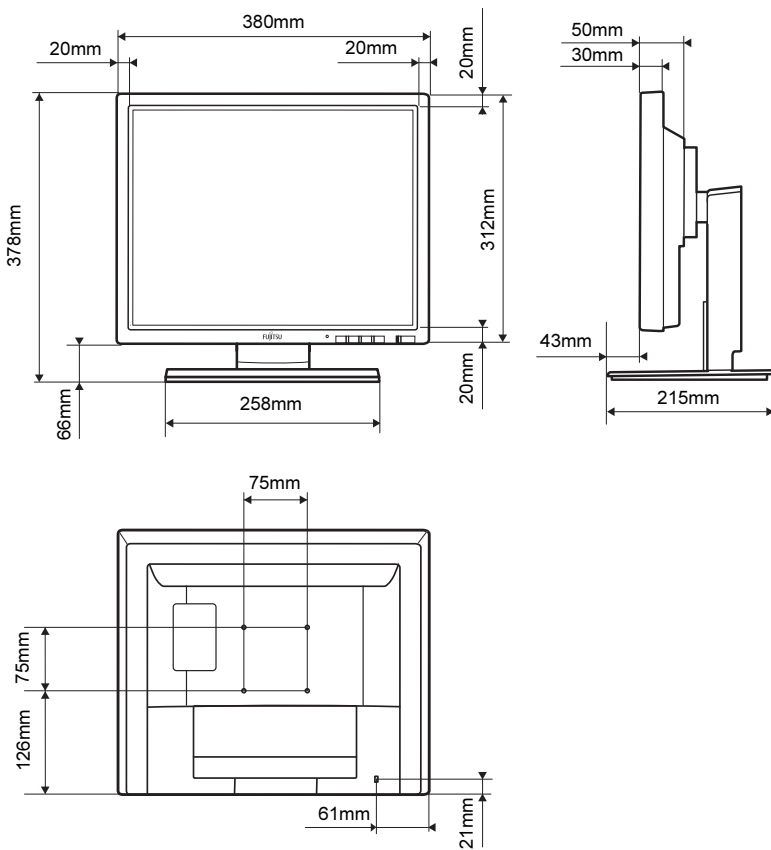
No.	信号	No.	信号	No.	信号	No.	信号
(1)	TX2-	(9)	TX1-	(17)	TX0-	C1	Analog Red
(2)	TX2+	(10)	TX1+	(18)	TX0+	C2	Analog Green
(3)	TX2 Shield	(11)	TX1 Shield	(19)	TX0 Shield	C3	Analog Blue
(4)	NC 注	(12)	NC 注	(20)	NC 注	C4	Analog 水平同期
(5)	NC 注	(13)	NC 注	(21)	NC 注	C5	Analog GND
(6)	DDC/SCL	(14)	DDC +5V	(22)	TXC Shield		
(7)	DDC/SDA	(15)	DDC GND	(23)	TXC+		
(8)	Analog 垂直同期	(16)	HPD	(24)	TXC-		

注 : NC: 未接続

端子配列図



## 外形図



---

## タッチパネル内蔵液晶ディスプレイ -17 (VL-17CST2) 補足情報

B6FY-6061-01 Z0-00

発行日 2024 年 10 月  
発行責任 富士通株式会社

〒 211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中 4-1-1

---

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。